

週間漁海況情報 2023年第47号

令和5年11月21日発行

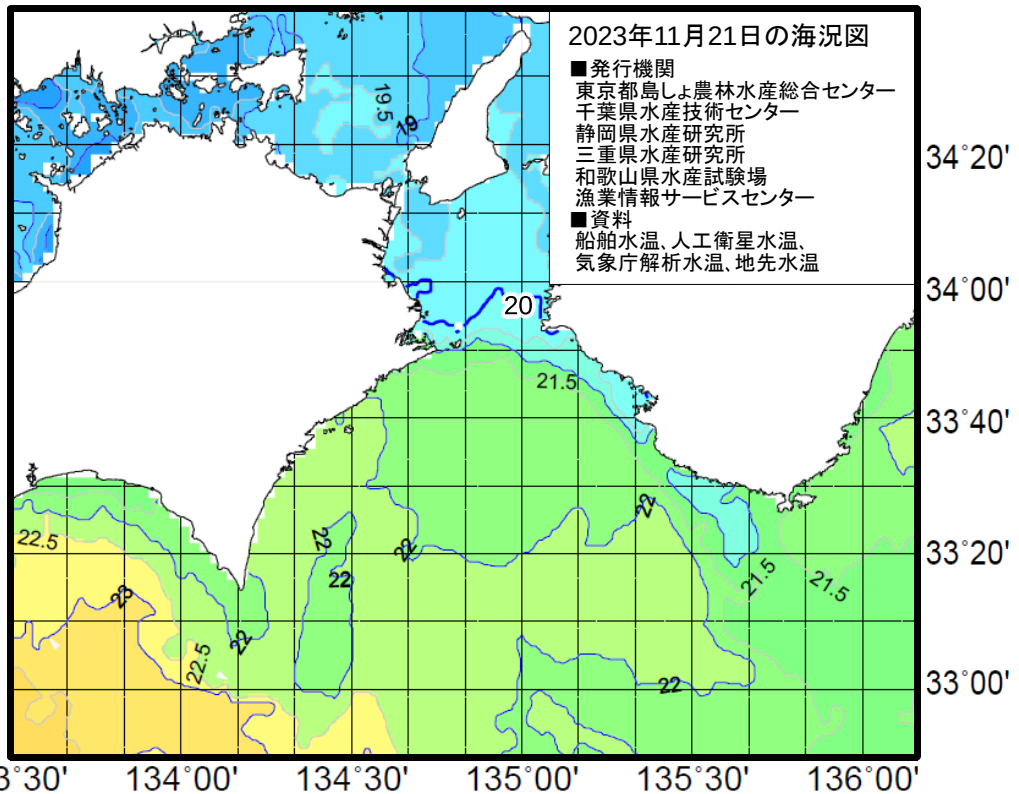
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖73マイル付近、潮岬沖126マイル付近を流れ、いずれでも「著しく離岸」している。先週と同様、室戸岬と潮岬の間には時計回りの渦があるが、室戸岬への暖水波及は弱い。また、紀伊水道からは紀伊半島沿いに南下する流れも弱い。

黒潮の表面水温は23～24℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は19℃、紀伊水道は19～21℃、海部沿岸は21～22℃台となっている。

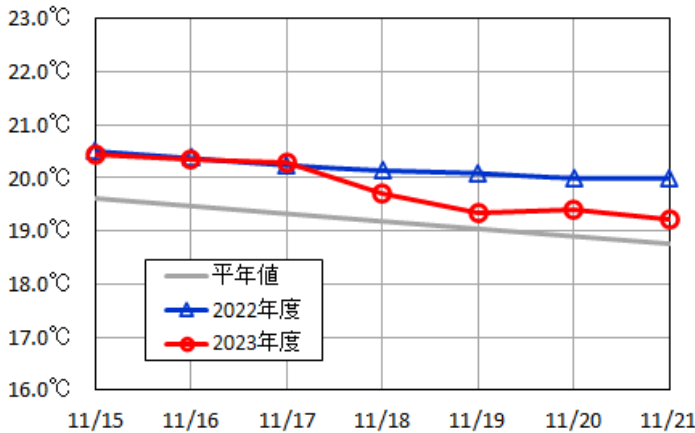


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

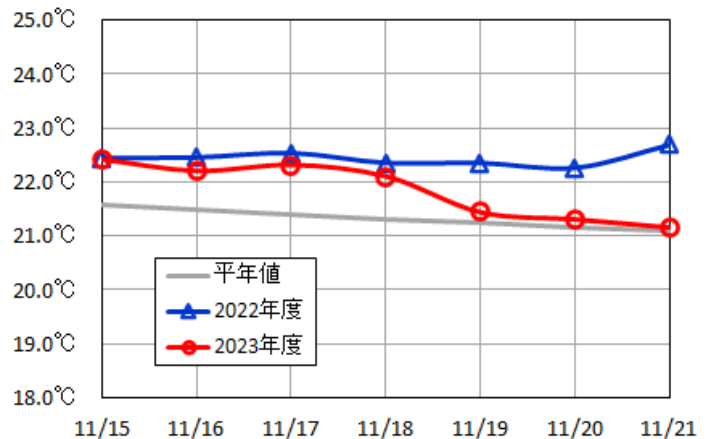
2. 地先水温(11月15日～11月21日)

鳴門地区の水温は、19.2～20.4℃で「やや高め」から「平年並み」、浅川地区は、21.1～22.4℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は1.8～2.3℃で、先週よりも広がった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(11月22日～11月28日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」して推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区、浅川地区ともに「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (11月13日～11月19日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが増えて91.1ト水揚げされた。
 延縄では、サワラが増えて1.1ト、カマスサワラが増えて0.3ト水揚げされた。
 建網では、カワハギが大主体に0.7ト水揚げされた。
 小型定置網では、カワハギが増えて大主体に1ト、イサキが増えて1ト、カンパチが大主体に0.5ト、ころだい類が増えて大主体に0.4ト、マアジが0.3ト、ブリが0.3ト水揚げされた。
 底びき網では、えそ類が1.3ト、クマエビが減って0.7ト、ハモが減って中主体に0.6ト、かます類が大きく増えて0.5ト、コウイカが減って0.3ト、イボダイが小主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、キハダが0.6ト水揚げされた。
 大型定置網では、メアジが増えて0.7ト、ヒラソウダが大きく増えて小主体に0.6ト、クサヤム口が減って中主体に0.3ト水揚げされた

漁獲量集計表 (漁獲量が0.25トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	75	シラス	91,125	1,215		↗
	延縄	25	サワラ	1,102	44		↗
		14	カマスサワラ	273	20		↗
	建網	71	カワハギ	650	9	大主体	→
	小型定置網	24	カワハギ	1,043	43	大主体	↗
		19	イサキ	1,003	53		↗
		18	カンパチ	534	30	大主体	→
		17	ころだい類	424	25	大主体	↗
		23	マアジ	285	12		→
		18	ブリ	279	16		→
	底びき網	21	えそ類	1,263	60		→
		21	クマエビ	667	32		↘
		21	ハモ	626	30	中主体	↘
		21	かます類	549	26		↗↗
21		コウイカ	301	14		↘	
21		イボダイ	280	13	小主体	→	
海部沿岸	釣り	8	キハダ	581	73		→
	大型定置網	4	メアジ	728	182		↗
		3	ヒラソウダ	562	187	小主体	↗↗
		3	クサヤム口	263	88	中主体	↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘